

参考資料

参考資料1 子ども・子育てに関するデータ

- ① 未婚率の推移
- ② 晩婚率の推移
- ③ 出生時年齢の推移
- ④ 理想の子ども数と実際の子ども数とのギャップ
- ⑤ 熊本県における世帯数、世帯人員、世帯の内訳
- ⑥ 近所の人との助け合いに関する認知（全国）
- ⑦ 子育ての孤立感（全国）
- ⑧ 熊本県における女性就業率の上昇
- ⑨ 共働き世帯数の推移（全国）
- ⑩ 男女別育児休業取得率の推移
- ⑪ 出産前後の妻の就業

参考資料2 子ども・子育て支援法（抜粋）

参考資料3 次世代育成支援対策推進法（抜粋）

参考資料4 熊本県子ども・子育て会議条例

参考資料5 熊本県子ども・子育て会議委員名簿

参考資料6 熊本県子ども輝き条例

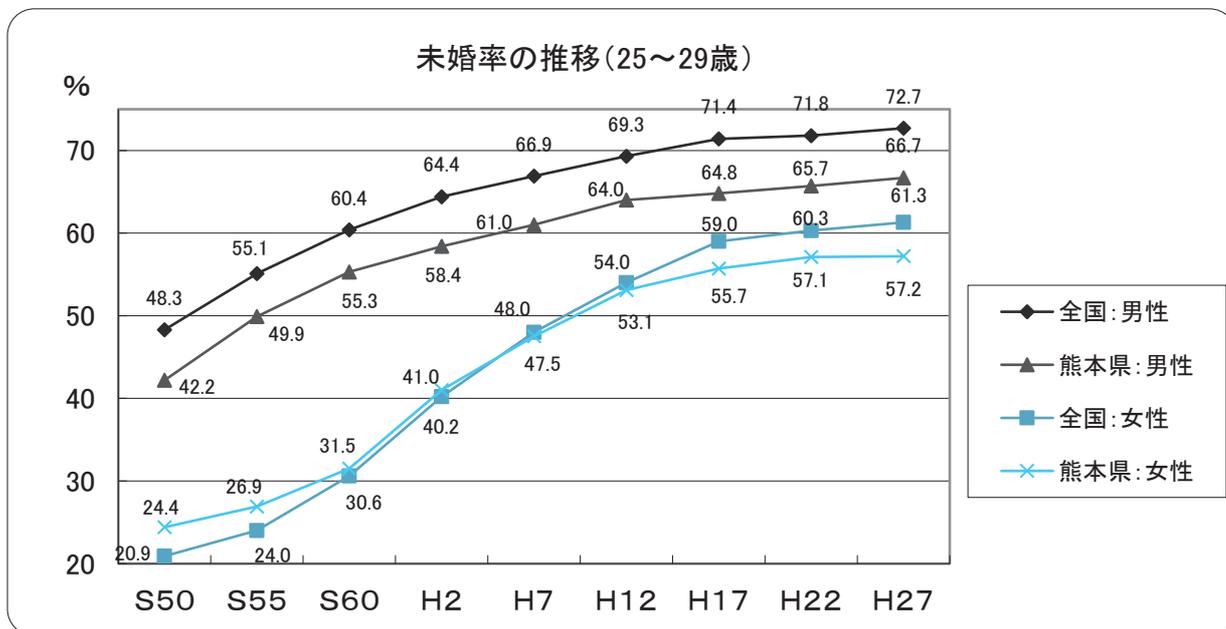
参考資料7 くまもと家庭教育支援条例

参考資料8 パブリック・コメントの実施結果について

参考資料9 計画策定の経過

①未婚率の推移

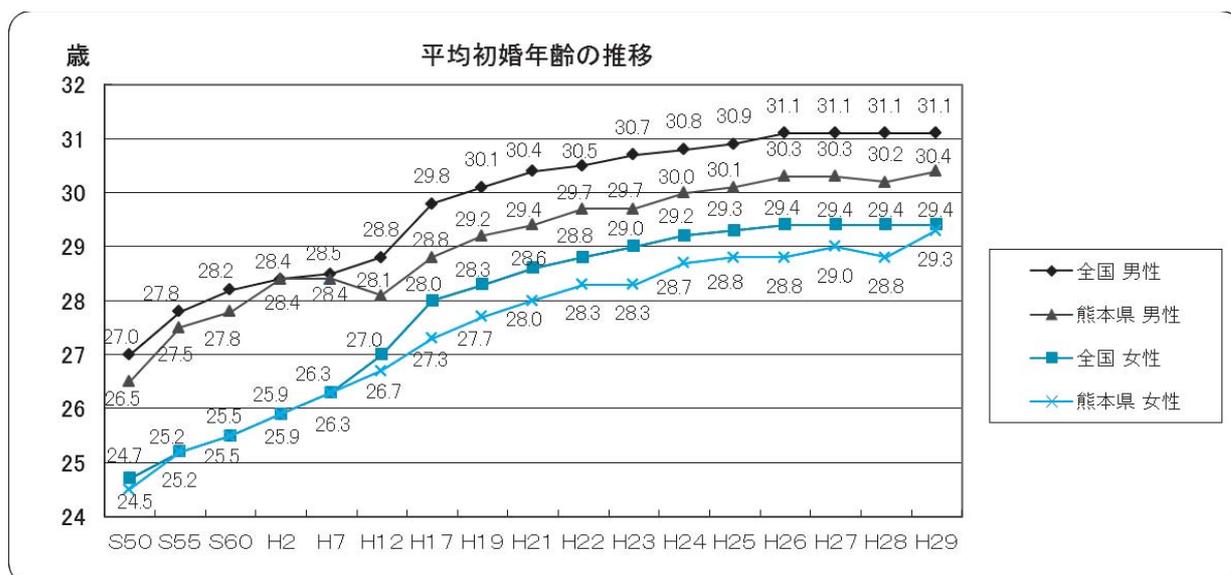
本県の未婚率は、全国と比べると低い水準ですが、全国の動向と同じように男性、女性ともに上昇しています。



出典：国勢調査

②晩婚率の推移

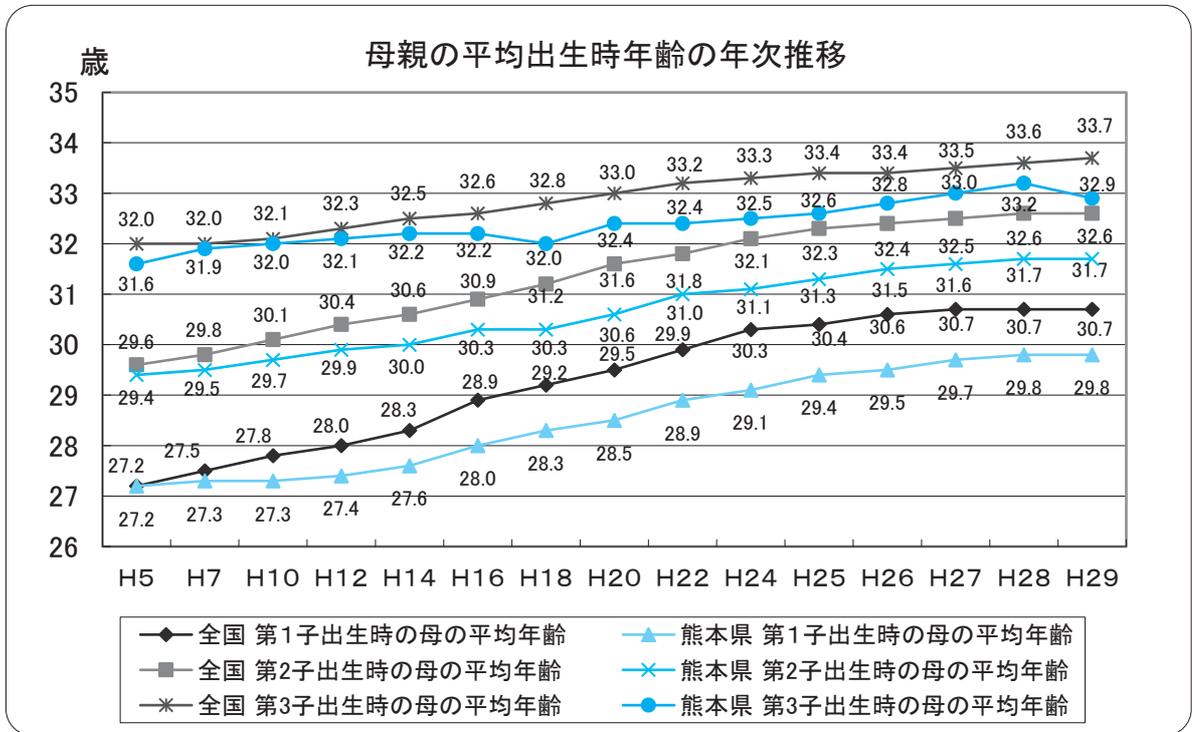
本県の平均初婚年齢は、全国と比べると若いですが、男性、女性ともに上昇傾向です。



出典：厚生労働省「人口動態統計」

③出生時年齢の推移

出生したときの母親の平均年齢をみると、本県は全国と比べると若いですが、第1子から第3子までいずれも上昇傾向です。



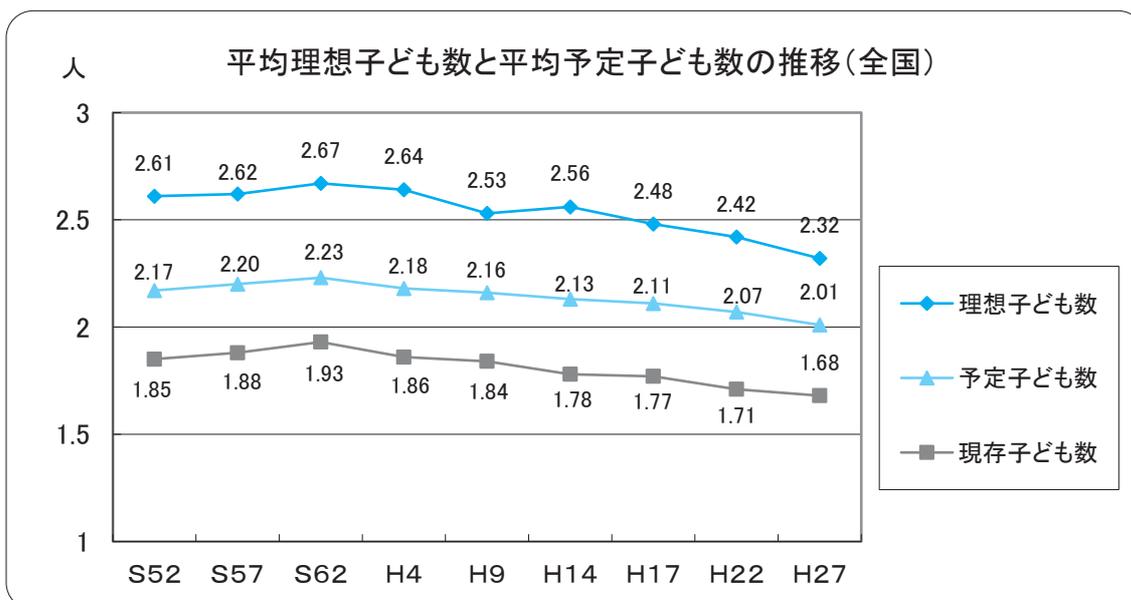
出典：厚生労働省「人口動態統計」

④理想の子ども数と実際の子ども数とのギャップ

■ 理想子ども数と予定子ども数とのギャップ

夫婦が考える理想的な子どもの数（平均理想子ども数）は、全国的に低下しており、昭和52年（1977年）の2.61人から平成27年（2015年）は2.32人となっています。また、夫婦が実際に持つ予定の子どもの数（平均予定子ども数）も、昭和52年（1977年）の2.17人から平成27年（2015年）は2.01人と調査開始以降最も低くなっています。

また、「平均予定子ども数」が「平均理想子ども数」を平成27年（2015年）で0.31人下回っていますが、その理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（56.3%）が最も多く、次いで「高齢で生むのはいやだから」（39.8%）となっています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

■理想の子ども数を持たない理由（全国）

（単位：％）

子育てや教育にお金がかかりすぎるから	56.3
高年齢で生むのはいやだから	39.8
欲しいけれどもできないから	23.5
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	17.6
健康上の理由から	16.4

⑤熊本県における世帯数、世帯人員、世帯の内訳

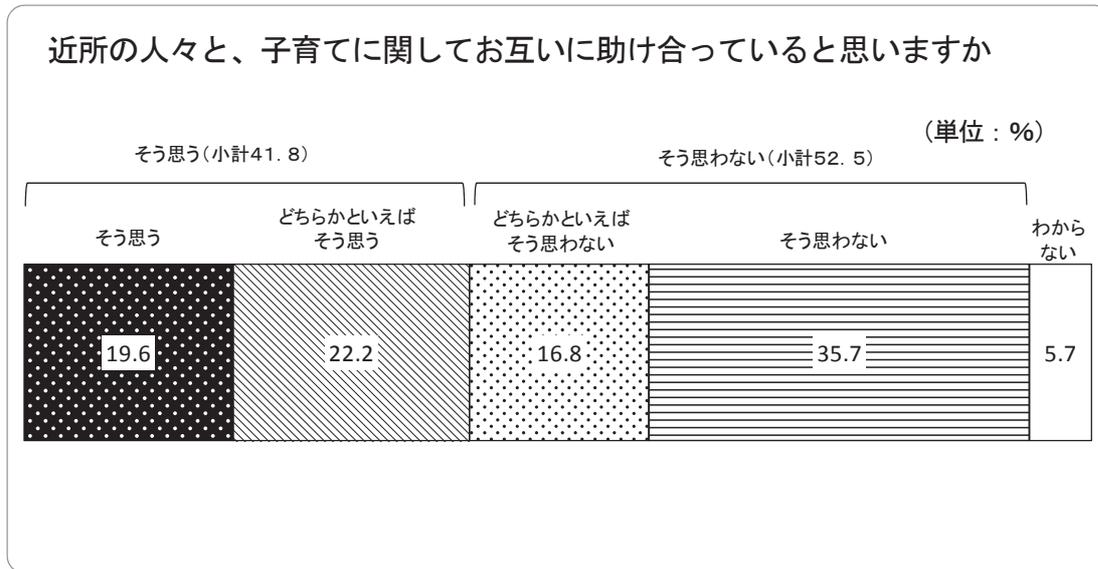
	S60	H7	H12	H17	H22	H27
世帯数	553,963	618,211	647,216	667,533	688,234	704,730
人口総数	1,837,747	1,859,793	1,859,344	1,842,233	1,817,426	1,786,170
世帯当たり人員	3.32	3.01	2.87	2.69	2.64	2.53

	S60		H7		H12		H17		H22		H27	
	世帯数	割合										
一般世帯数	551,628	100%	615,744	100%	644,963	100%	664,338	100%	686,123	100%	702,565	100%
核家族世帯数	312,390	56.6%	344,491	55.9%	362,400	56.2%	373,261	56.2%	382,235	55.7%	394,256	56.1%
3世代世帯数	105,559	19.1%	91,729	14.9%	82,017	12.7%	72,412	10.9%	61,000	8.9%	55,896	8.0%
単独世帯数	102,336	18.6%	143,171	23.3%	161,483	25.0%	176,246	26.5%	197,270	28.8%	217,228	30.9%

出典：国勢調査

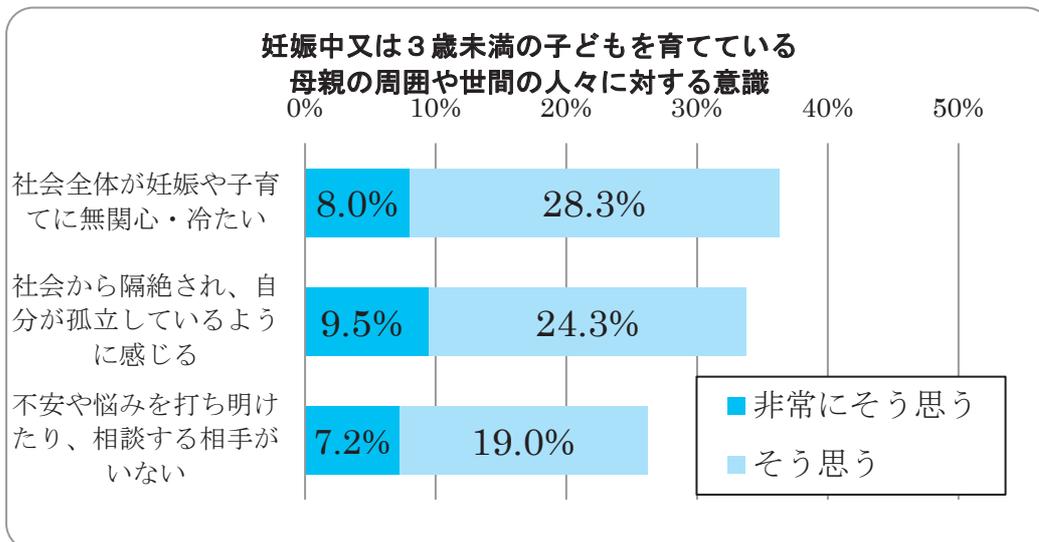
※3世代世帯数は、夫婦・子どもと両親から成る世帯、夫婦・子どもとひとり親から成る世帯、夫婦・子どもと他の親族（親を含まない）から成る世帯、夫婦・子ども・親と他の親族から成る世帯の合計数

⑥近所の人との助け合いに関する認知(全国)



出典：平成26年度内閣府「母子保健に関する世論調査」

⑦子育ての孤立感(全国)



出典：平成23年子ども未来財団発表

「子育て中の親の外出等に関するアンケート調査」

⑧熊本県における女性就業率の上昇

男女別就業者数の推移

	H12		H17		H22		H27	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
就業者数(総数)	886,887	100%	873,871	100%	834,244	100%	834,257	100%
うち男性(割合)	490,426	55.3%	475,819	54.4%	448,502	53.8%	443,727	53.2%
うち女性(割合)	396,461	44.7%	398,052	45.6%	385,742	46.2%	390,530	46.8%

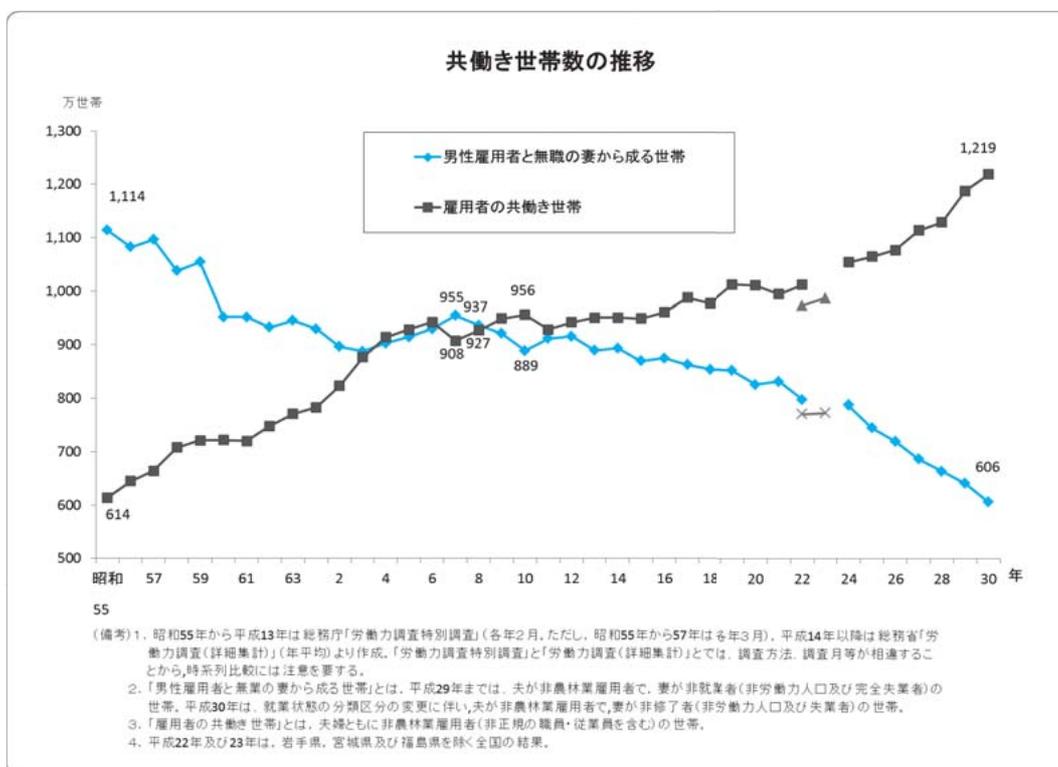
出典：国勢調査

生産年齢人口（15歳以上65歳未満）に占める就業者数の割合の推移

	H12	H17	H22	H27
総数	68.8%	69.1%	68.2%	70.5%
男性	77.6%	76.6%	74.6%	75.8%
女性	60.5%	62.0%	62.2%	65.4%

出典：国勢調査

⑨共働き世帯数の推移（全国）



出典：内閣府「男女共同参画白書 令和元年版」

⑩男女別育児休業取得率の推移

男女別育児休業取得率の推移

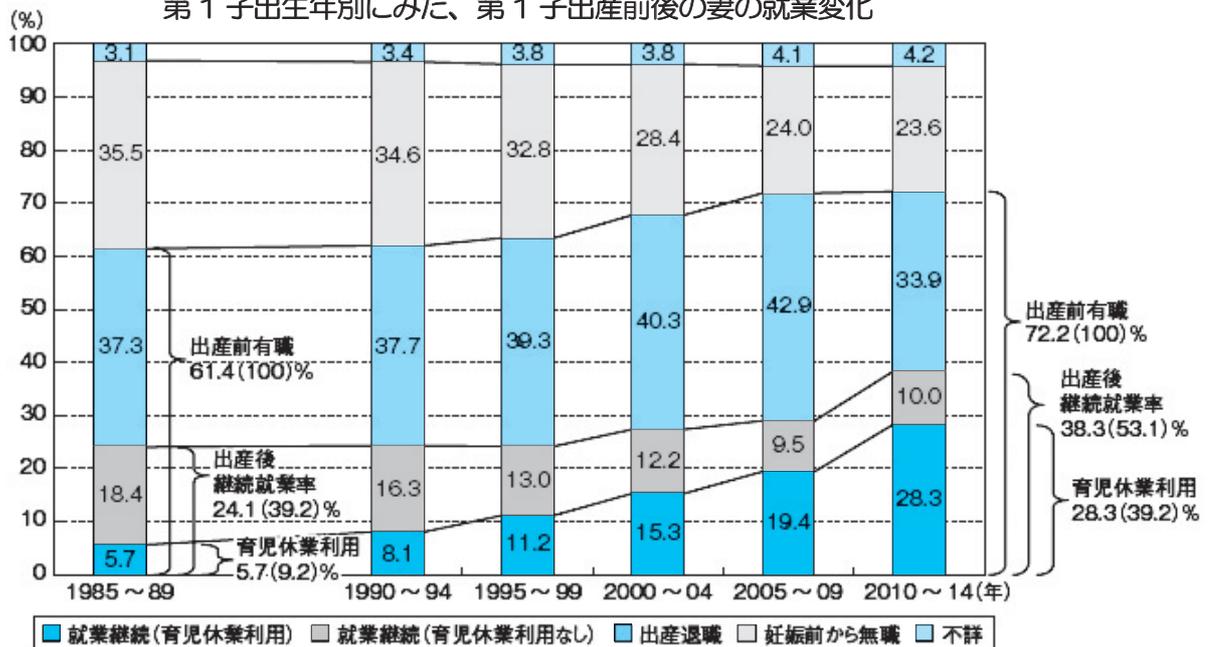
(単位：%)

年度	熊本県		全国	
	女性	男性	女性	男性
H19	86.2	0.8	89.7	1.56
H20	94.0	1.4	90.6	1.23
H21	81.4	2.4	85.6	1.72
H22	91.4	1.6	83.7	1.38
H23	92.9	1.4	87.8	2.63
H24	96.0	1.3	83.6	1.89
H25	94.5	2.2	83.0	2.03
H26	92.6	1.6	86.6	2.30
H27	96.0	2.0	81.5	2.65
H28	95.5	3.5	81.8	3.16
H29	96.6	3.1	83.2	5.14
H30	96.9	5.7	82.2	6.16

出典：熊本県労働条件等実態調査、厚生労働省「雇用均等基本調査」(全国)

⑪出産前後の妻の就業

第1子出生年別にみた、第1子出産前後の妻の就業変化

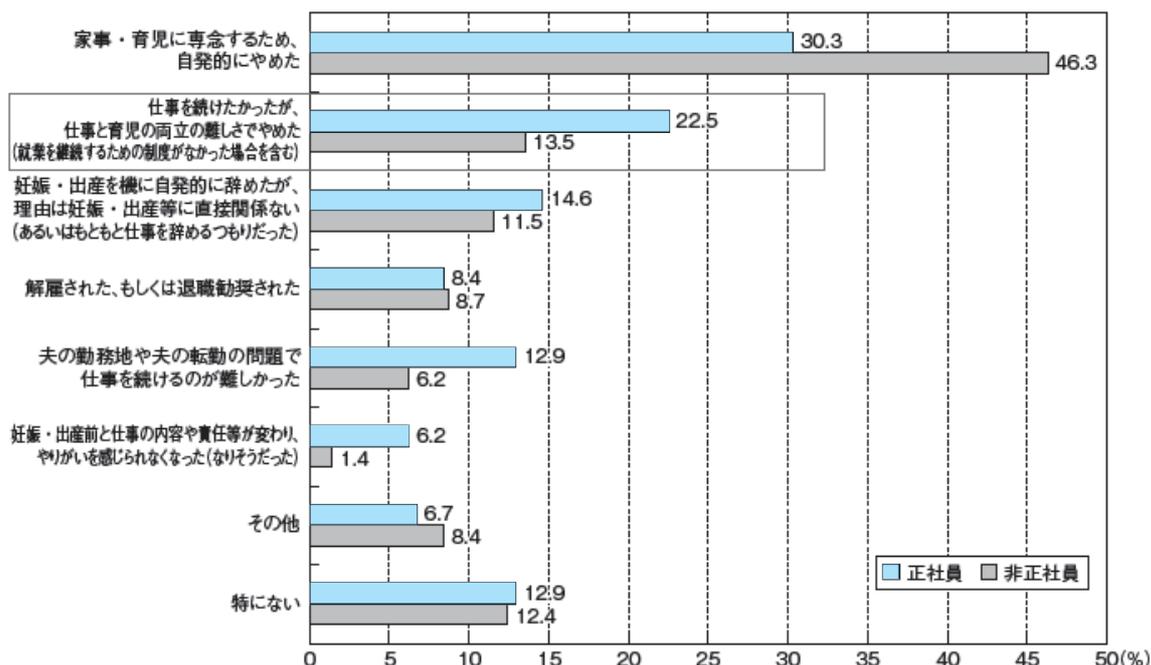


資料：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)(2015年)」

注：対象は第1子が1歳以上15歳未満の初婚どうしの夫婦の妻(年齢50歳未満)。図中の()内の数値は出産前に就業していた妻に対する割合

出典：令和元年版少子化社会対策白書

末子妊娠・出産を機に退職した理由

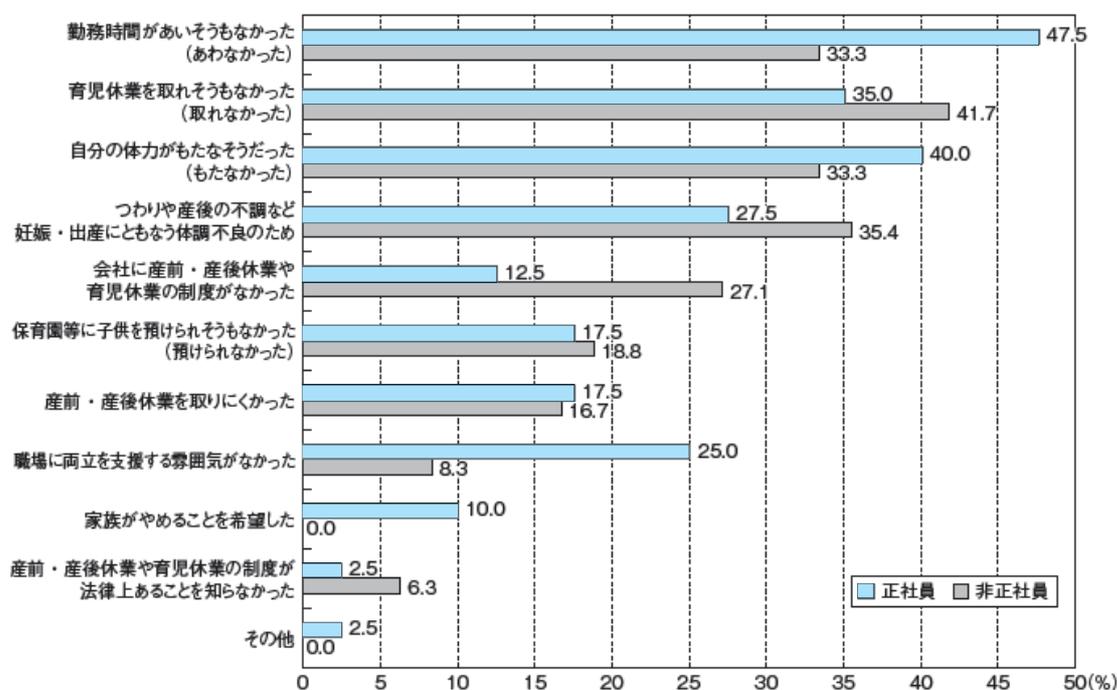


資料：厚生労働省委託調査「平成 28 年度 仕事と家庭の両立に関する実態把握のための調査研究 事業報告書労働者アンケート調査結果」（複数回答）（2017 年）

注：「非正社員」は有期契約社員・職員、パート、アルバイト、契約社員、派遣労働者、派遣社員

出典：令和元年版少子化社会対策白書

仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさでやめた理由



資料：厚生労働省委託調査「平成 28 年度 仕事と家庭の両立に関する実態把握のための調査研究 事業報告書労働者アンケート調査結果」（複数回答）（2017 年）

注：「非正社員」は有期契約社員・職員、パート、アルバイト、契約社員、派遣労働者、派遣社員

出典：令和元年版少子化社会対策白書